

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて

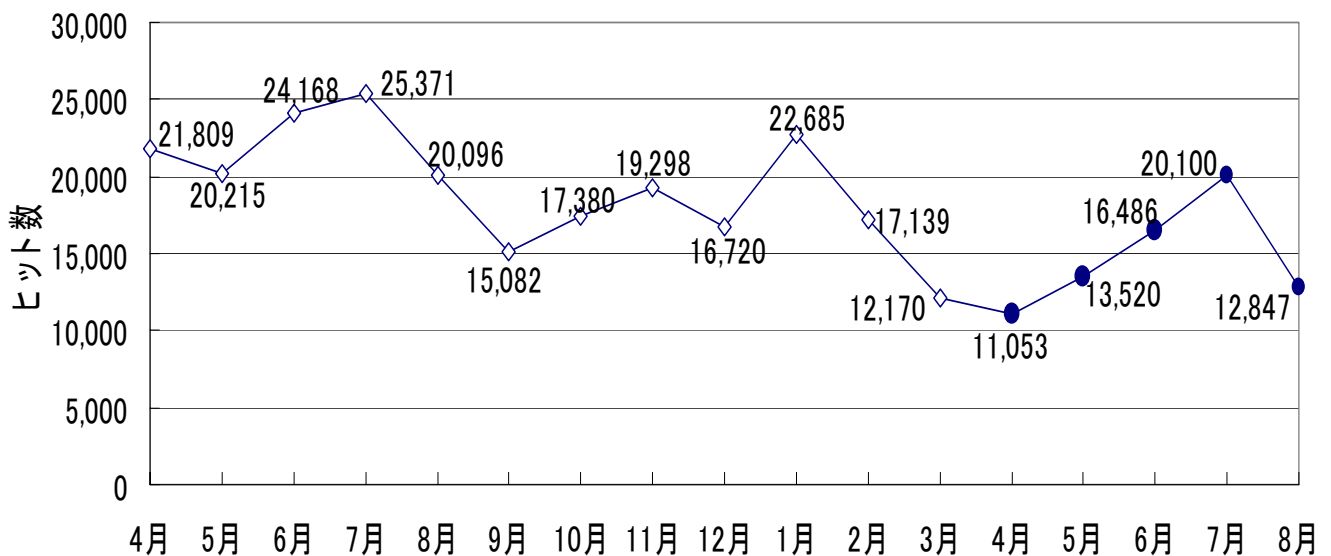
1. 平成 18 年度のホームページの運用・更新実績報告

(1) ホームページのアクセス集計

アクセス元の IP アドレス、アクセス元のドメイン名、アクセスされた日付と時刻、アクセスされたファイル名、リンク元のページの URL、訪問者の Web ブラウザ名や OS 名、処理にかかった時間、受信バイト数、送信バイト数、サービス状態コードなどの情報を毎日収集して、アクセス数の解析を行った。結果は以下のとおり。

<グラフ：アクセス集計>

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページアクセス数月別推移
(平成18年4月～平成19年8月)

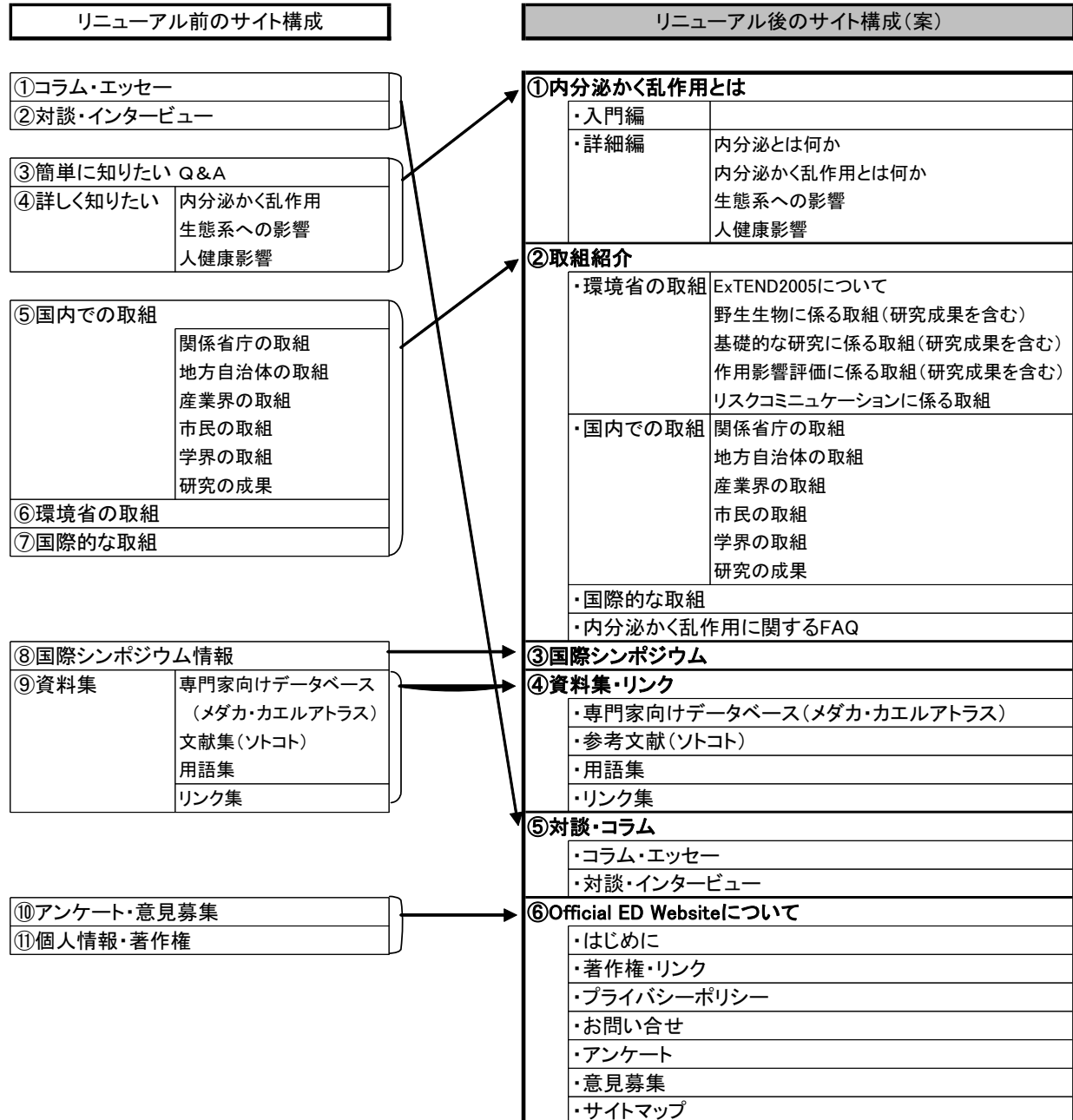


平成17年度計:158,816 平成18年度計:232,133 平成19年度4～8計:74,006
累計:464,955

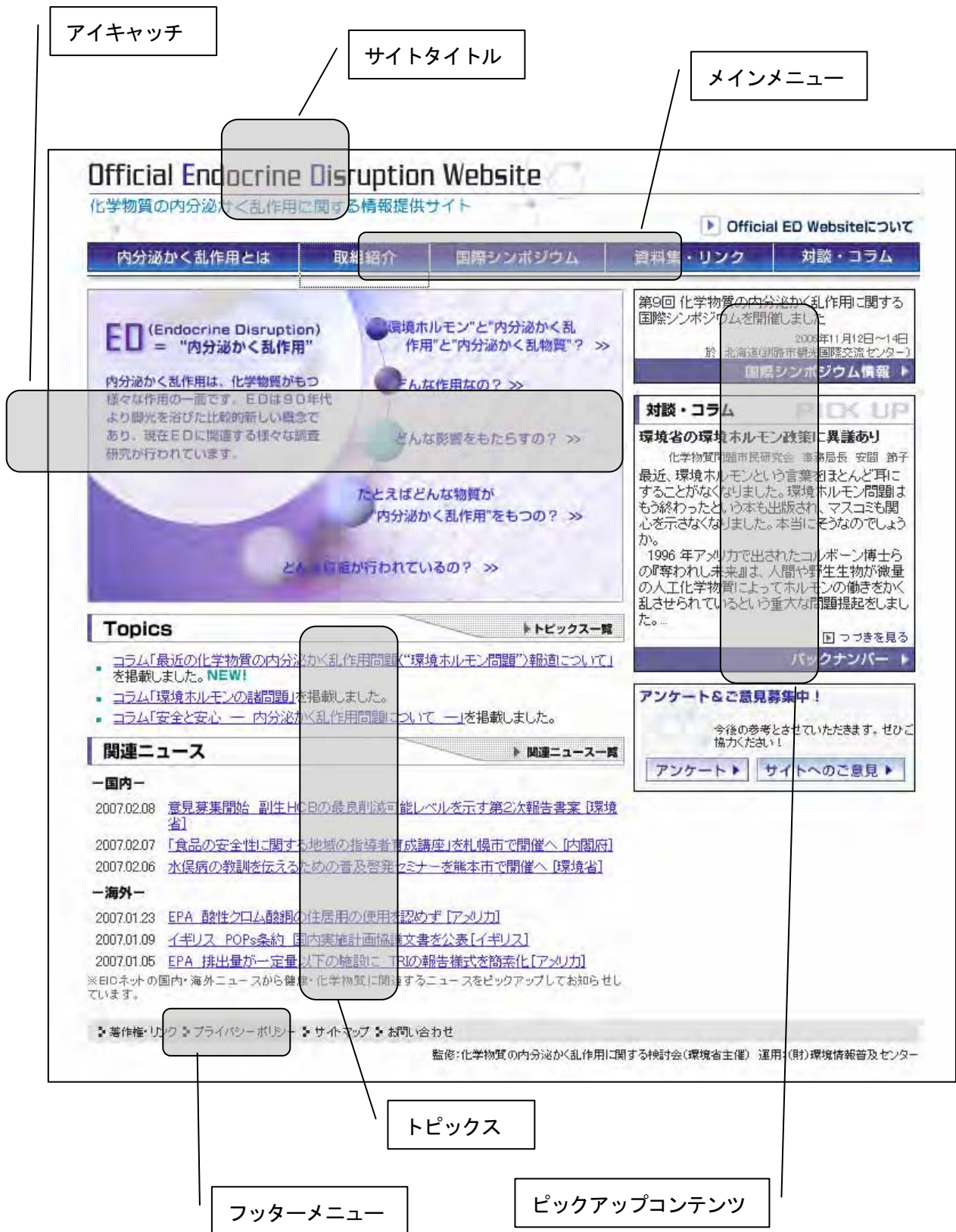
(2) ホームページリニューアルについて

検討会のご意見を承けて、ホームページの構成等を見直し、ホームページのデザイン、画像処理、HTML コーディング等の作業を行った。

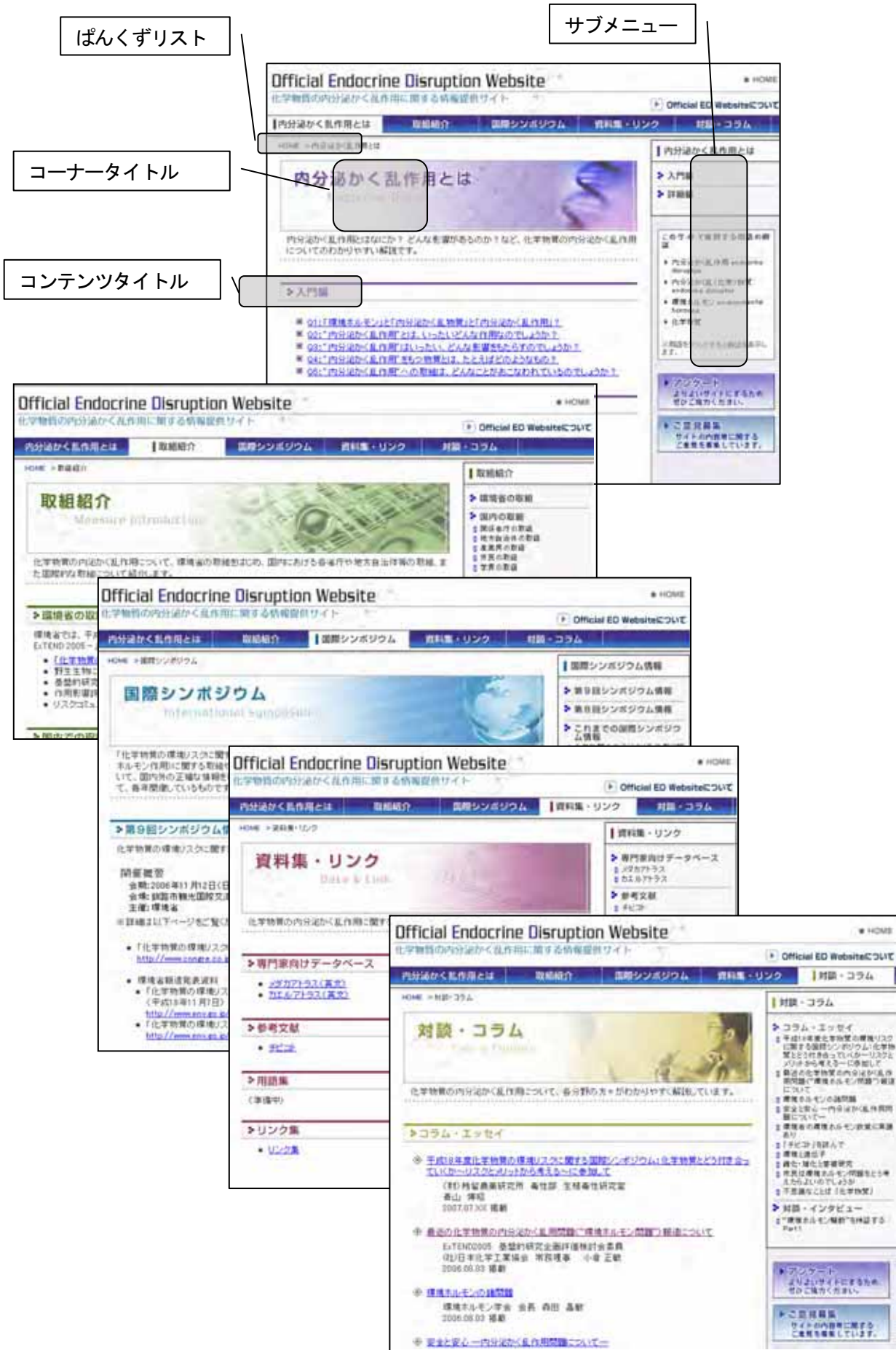
<図1：リニューアルにおけるサイト構成の新旧比較>



<図2：リニューアル後のサイトデザイン トップページ>



<図3：リニューアル後のサイトデザイン コーナートップ >



(3) アンケート・意見募集の状況 (平成18年8月～平成19年6月)

<アンケート集計結果 有効回答数：9件>

性別：

男性	女性	不明
3	5	1

年齢：

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
5	0	0	1	2	1	0

職業：

研究者			会社員		自営業		学生	主婦	アルバイト	無職	その他
化学関連分野	自然野生生物関連分野	その他の分野	化学関連分野	その他	化学関連分野	その他					
1	0	0	1	0	0	1	4	1	0	1	0

地域：

北海道東北	首都圏	関東甲信越	東海北陸	関西	中国四国	九州沖縄
2	2	4	1	0	0	0

このホームページで知りたかったのはどんなことですか？ (複数選択可)：

人健康への影響	野生動物・生態系への影響	植物エストロゲン	下水処理水	リスクコミュニケーション	メス化	精子減少	低用量問題	その他
5	7	0	1	4	3	2	3	2

このホームページのどの項目が分かりやすかったですか？ (複数選択可)：

簡単に知りたい	コラム・エッセイ	対談・インタビュー	詳しく知りたい	国内での取組	国際的な取組	国際シンポジウム情報	資料集
6	4	1	3	2	0	0	0

このホームページのどの項目が分かりにくかったですか？ (複数選択可)：

簡単に知りたい	コラム・エッセイ	対談・インタビュー	詳しく知りたい	国内での取組	国際的な取組	国際シンポジウム情報	資料集
0	0	0	1	3	1	3	1

このホームページのどの項目が勉強になった、もしくは役に立ちましたか？ (複数選択可)：

簡単に知りたい	コラム・エッセイ	対談・インタビュー	詳しく知りたい	国内での取組	国際的な取組	国際シンポジウム情報	資料集
5	2	0	3	3	0	0	1

全般的評価：

面白かった・興味が持てた	見やすかった・わかりやすかった	勉強になった・役に立った	また機会があれば読みたい	もう少し工夫してほしい
5	0	1	0	0

2. 今後の予定について

(1) 更新予定について

ホームページによる情報提供の特性を活かしながら、今後追加更新を予定している内容は以下のとおり。

①対談・コラム：入稿済み原稿執筆者は以下のとおり。

【コラム】

- ・青山博昭氏 残留農薬研究所 毒性部副部長兼生殖毒性研究室長
- ・さかなクン 東京海洋大学客員準教授
- ・佐藤 洋氏 東北大学医学部環境保健医学分野教授

【対談後半】

- ・小出 重幸氏 読売新聞東京本社編集委員
- ・安井 至氏 国連大学副学長

②国際シンポジウム情報：第10回シンポジウム開催案内・結果情報を掲載する。

③関連ニュース：月1回程度の頻度で国内・海外ニュースから健康・化学物質に関連するニュースをピックアップしてリンクを掲載する。

④資料集・リンク：化学物質の内分泌かく乱作用に関する、役立つ資料や参考文献等を紹介し、リンクを掲載する。

(2) 検討部会の議論をふまえた修正・追加更新について

ExTEND2005 リスクコミュニケーション推進検討部会でのご意見を踏まえ、コンテンツの追加・更新を行う。

【コラム・エッセイへの原稿掲載にあたっての方針】

- ・検討会委員本人、その他関連する ExTEND2005 の事業に関わる委員、本検討会委員の推薦者からの寄稿は原則掲載。
- ・事務局に対し、上記いづれでもない方から寄稿の申し出があった場合は、掲載の可否をメール等で検討会委員に諮る。
- ・A4で1枚程度（400字詰め原稿用紙4枚程度）の分量として原稿の依頼はするが、寄せられた原稿は修正せず原文のまま掲載する。

(お知らせ)

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページのリニューアルについて
(案)

平成 19 年 10 月〇日 (〇)
環境省環境保健部環境安全課
課長 木村 博承 (内 6350)
係長 高岡 志帆 (内 6352)
担当 齋藤 弘毅 (内 6352)

いわゆる環境ホルモンの問題について掲載した「化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページ」(<http://endocrine.eic.or.jp/>) をリニューアルいたしましたのでお知らせします。

1. 概要

- いわゆる環境ホルモンの問題について掲載した「化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページ」(Official Endocrine Disruption Website) (<http://endocrine.eic.or.jp/>) について、構成・デザイン等を見直し、国民の皆様方にわかりやすいホームページにリニューアルいたしました。

(項 目)

- 内分泌かく乱作用とは (入門編、詳細編)
 - 取組紹介 (環境省の取組、国内での取組、国際的な取組、内分泌かく乱作用に関する F A Q)
 - 国際シンポジウム
 - 資料集・リンク (専門家向けデータベース、参考文献、用語集、リンク集)
 - 対談・コラム (コラム・エッセー、対談・インタビュー)
 - Official ED Website について (はじめに、著作権・リンク、プライバシーポリシー、お問い合わせ、アンケート、意見募集、サイトマップ)
- このホームページは、化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会 (環境省主催) の監修のもとに、財団法人 環境情報普及センターが、ED (Endocrine Disruption) = 内分泌かく乱作用に関する種々の情報に解説等を加え、より分かりやすい形で情報提供を行うものです。なお、環境省の取組については、環境省のホームページ (<http://www.env.go.jp/chemi/end/index.html>) で紹介されています。
 - また、このホームページでは、様々な立場の方からの多様な意見の紹介、関連するホームページへのリンク等を行っていきます。ただし、紹介する意見やリンク先のホ

ホームページの内容等は、必ずしも財団法人 環境情報普及センターあるいは化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会（環境省主催）が支持するものではありません。

2. リンクについて

- 「Official ED (Endocrine Disruption) Website」へのリンクは、営利・非営利・イントラネットを問わず基本的に自由といたします。
- リンクいただく場合には、当サイトの活動目的と情報提供の趣旨に合った目的での掲載をお願いいたします。
- リンク先はトップページ (<http://endocrine.eic.or.jp/>) とさせていただきます。なお、その他のページは、予告なくURLを変更する場合があります。
- 以下のようなリンクは固くお断りいたします。
 1. Official ED (Endocrine Disruption) Website への誹謗中傷、信用を失う恐れのある内容を含むサイトからのリンク
 2. 公序良俗に反するサイトからのリンク
 3. フレームを使用したリンク
 4. 「Official ED (Endocrine Disruption) Website」であることが不明となるリンク
- なお、ホームページの情報の一部を加工して使いたい等の場合は著作権侵害等の問題が生じることもありますので、原則としてご遠慮いただいております。転載等の希望がある場合については、「お問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
- その他、ご不明な点がございましたら、「お問い合わせ」までご連絡ください。

お問い合わせ

財団法人環境情報普及センター

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-7-13 ナンサ虎ノ門 1ビル 7F

TEL : 03-3595-3992

E-MAIL : endocrine@eic.or.jp